

大阪情報コンピュータ専門学校 授業シラバス (2022年度)

| | | | | | | | | | | |
|----------------|---|-----------------------------------|------------|------|-------------|-------|---------|-----|-----|----|
| 専門分野区分 | ヒューマンスキル | 科目名 | キャリアデザイン I | | | 科目コード | TL011A1 | | | |
| 配当期 | 前期 | 授業実施形態 | 通常 | | | 単位数 | 1 単位 | | | |
| 担当教員名 | 東城 佐知子 | 履修グループ | 1F(SP) | | | 授業方法 | 講義 | | | |
| 実務経験の内容 | キャリアコンサルタントとして 11年間、大学・短期大学などで若年者の就労支援・進路指導に従事してきた実務経験を活かして、勤労観を養成し、職業や職種選択の考え方について実践的に講義する。また、自己理解を深め「目標とする生き方」「なりたい自分像を」を明確にし、自信を持ち夢に向かって一歩を踏み出す力の育成を目指す。 | | | | | | | | | |
| 学習一般目標 | 自己理解や他者理解、社会を知るためのグループワーク、グループディスカッション等を通じて、キャリアについての概念や理解を深めることによりキャリア意識を養うことを目標とする。また、授業を通じて、文章力やコミュニケーション能力を身につける。 | | | | | | | | | |
| 授業の概要および学習上の助言 | キャリアについての概念を説明するとともに、自己理解や他者理解を深めるための個人ワークをはじめ、グループワーク・ディスカッション等を通じて自分自身を振り返り、今後の人生について考える。様々なスループワーク・演習を実施するので、積極的に参加すること。 | | | | | | | | | |
| 教科書および参考書 | キャリアデザインノート I | | | | | | | | | |
| 履修に必要な予備知識や技能 | キャリアデザインノート I は、ゼミナール I の中でも使用します。目標の設定をしっかりと行いましょう。 | | | | | | | | | |
| 使用機器 | 特になし | | | | | | | | | |
| 使用ソフト | 特になし | | | | | | | | | |
| 学習到達目標 | 学部DP(番号表記) | 学生が到達すべき行動目標 | | | | | | | | |
| | 3 | 社会や職業に対して関心を持つことができる。 | | | | | | | | |
| | 4 | 自らの考えを文章もしくは口頭で説明することができる。 | | | | | | | | |
| | 5 | 自分や他者、社会を知り、自ら継続的にキャリアを考えることができる。 | | | | | | | | |
| | 1 | | | | | | | | | |
| | 1 | | | | | | | | | |
| 達成度評価 | 評価方法 | 試験 | 小テスト | レポート | 成果発表(口頭・実技) | 作品 | ポートフォリオ | その他 | 合計 | |
| | 学部DP | 1.知識・理解 | | | | | | | | |
| | | 2.思考・判断 | | | | | | | | |
| | | 3.態度 | | | 10 | | | | 10 | 20 |
| | | 4.技能・表現 | | | 30 | | | | | 30 |
| | | 5.関心・意欲 | | | 30 | | | | 20 | 50 |
| | 総合評価割合 | | | 70 | | | | 30 | 100 | |
| 評価の要点 | | | | | | | | | | |
| 評価方法 | 評価の実施方法と注意点 | | | | | | | | | |
| 試験 | | | | | | | | | | |

| | |
|-------------|--|
| 小テスト | |
| レポート | 授業で実施するグループワークや課題の提出で判断する。 |
| 成果発表(口頭・実技) | |
| 作品 | |
| ポートフォリオ | |
| その他 | <p>授業への出席率、姿勢態度、グループ演習での積極性等を総合的に判断します。</p> <p>① 授業への出席率 「自分を様々な角度から探究し将来について考える」という授業の性質上、10回以上の出席をもって、単位認定をします。</p> <p>② 基本的なマナー 社会への入口となる授業です。社会生活を送る上での基本的なマナーの実践を重視します。 ・遅刻、授業中の飲食・携帯電話・私語等、「学びの場」を乱す行為をしない。 ・スマートフォン等の電子機器の使用は、授業に関係する場合のみ許可します。</p> <p>③ 授業に対する姿勢・態度 グループ演習への真摯な取り組みが必要です。</p> <p>④ グループディスカッションやワークでの積極性 単なる雑談の場にならないよう、各自が意図的に参加すること。 ※一人一人が、互いに成長し合う学びの場づくり・環境づくりの担い手である意識をもち、授業に参加することを依頼します。</p> <p>◇授業で作成したレポートやワークシートについて、クラス担任やキャリア支援課からの要請があった場合は、学生への効果的な進路指導等に活かすため、共有する場合があります。</p> |

授業明細表

| 授業回数 | 学習内容 | 授業の運営方法 | 学習課題(予習・復習) |
|------|--|------------|---|
| 第1回 | 第1週 授業目的およびシラバスの案内 CDNの説明、STEP1 体験実施 | 講義・グループワーク | CDN I / STEP1 『クラスの仲間を知ろう』 |
| 第2回 | 第2週 キャリアの概念を伝える 他者理解と共感力を身につける | 講義・グループワーク | CDN I / はじめに 『これまでの自分を振り返ってみよう』 |
| 第3回 | 第3週 自己理解① 入学目的の振り返り | 講義・グループワーク | CDN I / STEP2 『OIC 入学のきっかけを振り返ってみよう』 |
| 第4回 | 第4週 自己理解② 性格傾向や特性を知る | 講義・グループワーク | CDN I / STEP4 『あなたはどんな人?』 |
| 第5回 | 第5週 自己理解③ | 講義・グループワーク | CDN I / STEP5 『自分について考えてみよう』 |
| 第6回 | 第6週 OICでの目標を立てよう① | 講義・グループワーク | CDN I / STEP3 『学生生活の目標を立てよう』 |

| | | | |
|------|---|------------|---|
| 第7回 | 第7週 OICでの目標を立てよう② | 講義・グループワーク | CDN I / STEP6 『頑張った経験の整理をしよう』 |
| 第8回 | 第8週 ディスカッション体験 | 講義・グループワーク | CDN I / STEP7 『グループで意見交換してみよう』 |
| 第9回 | 第9週 OICの学び、社会とのつながり① 「様々な職種について考える」 | 講義・グループワーク | CDN I / STEP8 『自分が大事にしたいものを考えよう』 |
| 第10回 | 第10週 OICの学び、社会とのつながり② | 講義・グループワーク | CDN I / STEP9 『様々な分野のIT技術者』 |
| 第11回 | 第11週 OICの学び、社会とのつながり③ | 講義・グループワーク | CDN I / STEP10 『企業は学生にどんな力を求めているんだろう?』 |
| 第12回 | 第12週 まとめ① 自分を表現しよう | 講義・グループワーク | 学校指定の履歴書を使ってワークを行う |
| 第13回 | 第13週 まとめ② 授業の締めくくり | 講義・グループワーク | CDN / STEP11 『OIC在学中のこれからの学びを考えよう』 |